

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第53号

令和5年11月15日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言

未来のための今

副病院長（食道・胃腸外科） 鍋谷 圭宏



「未来のための今 - Act now for the future -」は、2000年の第100回日本外科学会総会において当時慶應義塾大学外科教授の北島政樹会長が掲げたテーマでした。20年以上経ったある時、松任谷由美さんが「続けていると、過去の自分が今の自分を助けてくれる」とテレビで話されていたのを見て「未来のための今」を思い出しました。どちらも、今の自分の行動が未来を左右するという貴重な教えだと敬服しました。

千葉県がんセンターは日本で3番目に開院したがん専門病院で、昨年開院50周年を迎えました。200床で開院した当時から、「高度ながん医療の提供と地域医療への貢献」そして「心と体にやさしく、希望の持てるがん医療」という理念の追求が、「未来のための今」の使命としても引き継がれてきたように思います。しかし、この間がん医療は著しく進歩・専門化して、多職種チームで提供することが一般的になりました。治療方針はカンファレンスで決め、最も関わったスタッフの意見と完全には一致しないこともあります。働き方改革も進み、患者さんが信じる一人の主治医が常に傍にいるとは限りません。個人的に思うところではありますが、変化に適応して時代の流れにはついていけないといけません。では、これからのがん専門病院のスタッフは、「未来のための今」どのようなことを目指すべきでしょうか？

「Fast alone, far together - 一人だと速く行ける、一緒だと遠くに行ける -」岸田首相の演説やCMにも引用されていましたが、アフリカ起源とされるこの諺は後半の「共に助け合って」が強調されます。一方で、「素早い決断は一人です」とも解釈できる前半の部分も大事で、「臨機応変に、目標に応じて、行動を考えましょう」ということだと思います。がん医療でもまさに同じで、考え得る治療を患者さんに全て提供する（遠くに行く）には、チームでの方針決定や医療連携はますます欠かせなくなるでしょう。しかし、最近少し忘れがちな人と人とのface to faceの繋がりも、がん医療では必要です。信頼した主治医の早い決断と説明（速く行く）は、患者さんにとって心から嬉しい瞬間になると思います。そのためには、チーム医療の成熟だけではなく、患者さんの気持ちに寄り添える専門職としての個のコミュニケーションスキルを磨く努力も、「未来のための今」必要ではないかと感じる今日この頃です。

臨床の現場から

頭頸科での診療

頭頸科 部長 木下 崇

頭

頸部癌は比較的頻度の低い疾患ですが、含まれる疾患は口腔癌（舌癌、歯肉癌、頬粘膜癌など）、咽頭癌（上・中・下咽頭癌）、喉頭癌、甲状腺癌、唾液腺癌（耳下腺癌、顎下腺癌など）および鼻副鼻腔癌などと多岐に渡ります。頭頸部に含まれる口腔、咽頭、喉頭、鼻副鼻腔は、摂食・嚥下・呼吸・発声・嗅覚に関わる器官であり、人間が生活する上で欠かせない重要な役割を担っております。そのため頭頸部癌の治療にあたってはこれらの機能の温存と根治性の担保という2つの柱を両立する必要があります。

令和4年度に当科へご紹介頂いた新規頭頸部癌患者さんの数は246症例で、うち116症例に対しては手術療法を中心に、87症例に対しては放射線治療および化学療法での治療を行いました。

手術治療については遊離皮弁を用いた拡大切除同時

再建手術を積極的に行っており、局所進行癌または放射線治療後の再発、残存症例に対する救済手術は症例数が増加しております。また、早期癌に対しては機能温存手術による低侵襲手術や化学放射線治療を行い、治療後のQOLの維持も念頭において治療を行っております。

放射線治療については上・中咽頭癌に対しては積極的にIMRTによる放射線治療を行っており、合併症をできるだけ回避しながら良好な治療成績を得られるよう放射線科と合同で治療を行っております。

薬物療法については、以前より行われてきたレジメンに加え頭頸部扁平上皮癌に対してはニボルマブやペンブロリズマブなどの免疫チェックポイント阻害薬を、また切除不能甲状腺癌に対するレンバチニブなどの分子標的薬を積極的に導入し、合併症のある症例に対してもより専門性の高い治療を行っております。また新規薬物治療の治験にも参加しており、患者さんにより多くの治療選択肢を提供できる体制を整えております。

今後もさらに多くの頭頸部癌患者さんに安全で質の高い医療を提供できるように努力して参ります。



地域連携室だより

初診やセカンドオピニオンの予約時のお願い

地域医療連携室 室長 米本 司

日頃より、地域の医療機関の先生方からたくさんの患者さんを紹介していただき、誠にありがとうございます。千葉県がんセンターの初診時には、患者さん、または紹介元の医療機関から千葉県がんセンター地域医療連携室に事前に電話での予約をしていただいております。その際には検査や治療、臓器別により、該当の診療科の担当医師の初診予約をしていただきます。がんの転移がある場合でも、原疾患の診療科で予約をお願いしております。当院には20以上の診療科があるため、初診の電話予約をした際に患者さんが当院のどの診療科に予約をすればよいか悩まれていることがあります。その際、患者さんには疾患や紹介元の診療科、当院での治療予定、診療情報提供書の封筒に記載されている診療科を伺い、予約の手続きをしております。初診予約の手続き等で不明な点がありましたら、地域医療連携室にご連絡下さい。患者さんが安心して受診できるようにお手伝いをさせていただきます。

また、セカンドオピニオン外来も、完全予約制となっております。セカンドオピニオンの診療科によって曜日や時間が異なります。患者さんが予約の電話を入れてい

ただく際には、セカンドオピニオンの予約であることを伝えるように紹介元の医療機関で患者さんに言っていただきますと、予約や相談の手続きがスムーズになります。

外来の予約の電話がかかりにくいとのご意見をいただいております。現在、初診の電話予約は、平日9時から17時までとなっております。予約の電話が特に集中している時間は、週明けの朝9時から10時頃と平日の12時から13時頃となっております。皆さまにご迷惑をおかけしておりますが、順番に電話で対応させていただいておりますので、何卒宜しく願いいたします。

予約受付：月曜日～金曜日

(土曜・日曜・祝祭日、12月29日～1月3日を除く)

医療機関等からの 予約・問い合わせ	時間：午前9時～午後5時 電話：043-264-5633 ファックス：043-263-4075
初診・再診予約 (患者専用)	時間：午前9時～午後5時 電話：043-263-4071

千葉県がんセンターホームページQRコード



治験の用語：CRCの仕事

治験臨床試験推進部長 三梨 桂子

CRCとは、治験コーディネーター [Clinical Research Coordinator] の略です。治験開始にはまず、治験依頼者（製薬会社等）が作った実施計画書を元に、病院の治験責任医師との合意を得ます。施設では、治験参加者の人権と安全性に問題がないか治験審査委員会でも審査されます。CRCは審査前から試験の開始に関わり、治験責任医師とともに院内の体制を整えます。他に、治験依頼者と病院、登録患者さんと医療者との橋渡しとしての業務も務めています。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

現在募集中の治験情報 R5/9月末時点での募集中試験数は35件

- | | | | |
|----------|-----------|------------|------------|
| ①食道がん 2件 | ④前立腺がん 2件 | ⑦リンパ腫 5件 | ⑩非小細胞肺がん1件 |
| ②胃がん 3件 | ⑤膀胱がん 2件 | ⑧骨髄線維症 1件 | |
| ③大腸がん 2件 | ⑥乳がん 10件 | ⑨多発性骨髄腫 2件 | |

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



看護の現場から

その人らしく生き抜くために

7B緩和ケア病棟 看護師長 笹森 光江

緩

緩和ケア病棟とは、がんを治すことを目標とした治療（手術・薬物療法・放射線治療など）が難しい、または、そうした治療を希望しない方を対象に、がんの進行に伴う心や体のつらさに対する治療やケアを専門に行う病棟です。『最期までその人らしく生きることを支えるチーム医療』をモットーに、医師や看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、理学療法士、ソーシャルワーカー、音楽療法士、ボランティアなどで、療養生活を支援しています。入院により心や体のつらさが和らげば、自宅などへの退院の調整も行います。

千葉県がんセンターは、2003年に緩和ケア病棟を25床で開棟し、2022年4月には7B病棟とC棟合わせて53床のベッドを有しています。2つの病棟では機能分担を行っており、7B病棟での基本コンセプトは「症状緩和により早期に在宅療養に移行するための支援」、C棟では「既に在宅療養している方に対する必要時の入退院支援」としています。在宅医療を推進する中で、急に

痛みなどの苦痛が増強した場合、即日入院できること、介護者の休息を目的とした入院もできることは、患者さんやご家族の大きな安心に繋がっています。

緩和ケア病棟は、コロナ禍においても、大切な家族やペットとの時間が過ごせるよう、一般病棟とは異なる面会体制を取ってきました。「家族」は親族だけではなく、「その人が大切にしている人」と定義しています。大切な人と穏やかな時間を過ごすことの重要性を患者さんやご家族と共有し、「どこで、どのような暮らし方を望むのか」「その人の最善とは何か」を常に考えるようにしています。

また、緩和ケア病棟は、医師や看護師などが患者のベッドサイドに行く時間も比較的取りやすく、病室の中に家族がくつろげるスペースがあるなど、プライバシーに配慮された構造になっています。七夕や花火鑑賞、クリスマスなど季節ごとの行事や、音楽会などのレクリエーションも行っています。

患者さんやご家族から「この看護師さんは本当に優しくて」という言葉をいただくこともあります。このようなお言葉に甘えず、「その人らしい生活や生き方を支えるために、看護やチーム医療のさらなる質向上に努めなければならない」と気持ちを引き締めています。今後も、成長し続ける病棟でありたいと思っています。

大切なペットと過ごす患者さん

（御本人と御家族の希望により掲載）▶



7B緩和ケア病棟のスタッフ（一部）テラスにて

お知らせ・報告

県民公開セミナー報告

第129回 日本消化器病学会関東支部市民公開講座/第21回 千葉県がんセンター県民公開セミナー（共催）を、令和5年10月7日（土）午後1時から千葉駅7階ペリエホールで開催しました。今回のテーマは「消化器がんの予防と最新の情報」です。

藤里病院長によるあいさつの後、食道・胃腸外科部長の鍋谷医師が「はじめに：がんはどうしてできるのでしょうか？」と「食道がんにならないために」、食道・胃腸外科医長の水藤医師が「胃がんにならないために」、食道・胃腸外科主任医長の早田医師が「大腸がんと遺伝」、消化器内科医長の喜多医師が「膵臓がんを予防するには？」、遺伝子診断部部長の横井医師が「消化器がんとゲノム医療」、医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部栄養ガイドライン研究室長の片桐先生が「科学的根拠に基づくがんになりにくい食事とは」と題し、講演しました。

当日は、約330名の方に御参加いただきました。来場者の方々から寄せられたアンケートには「今までに受けた講座の中で一番ためになった」、「分かりやすかった」とのお声をいただいた一方で、セミナーの運営の面で率直な御意見もあり、今後の課題としていきたいです。

令和5年度・千葉県夢チャレンジ体験スクールを開催

千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部 上久保靖彦

千葉県教育庁主催の夏休み恒例「夢チャレンジ体験スクール」（旧称サマー・サイエンス・スクール）は、ご存じのようにコロナ禍の影響を受けてその開催が3年もの間、中断されていました。コロナ感染症の状況がようやく落ち着きの兆しを見せて来た本年度、千葉県がんセンター研究所において「令和5年度・千葉県夢チャレンジ体験スクール」を無事開催することができました。本プログラムの企画・実施に協力してくださった関係者の皆さまに篤く御礼申し上げます。さて、当日の参加者は抽選で選ばれた千葉県内在住の中学生6名および高校生6名の生徒さんです。開校



式の後、研究所長による『千葉県がんセンターの概要』、そして副研究所長による『がん研究入門』の講義に続いて、実際に研究所で体験する実験についての説明を受けた後、さっそく研究所所属の研究員の指導の下で医学・生物学に関連する様々な実験を自分の手で体験してもらいました。4つの実験課題が用意されました。生徒さんたちは3人ずつ4つ小グループに分かれ、順番にそれぞれの実験をローテーションする方式で体験しました。昼休みを挟んで夕方まで生徒さん自身が実際に自分の手を動かして熱心に実験を行うという貴重な体験が、がん研究に興味を持つきっかけになれば嬉しい限りです。最後に「将来の進路を考える上で今回のプログラムはとても有意義であった」との生徒さんの感想文を手にして、主催者としての充実感を感じると同時に、この生徒さんたちと一緒に仕事をする近未来を想像してしまいました。来年の「夢チャレンジ体験スクール」は、さらに生徒さんに有意義なものとなるように頑張りたいと思います。

初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

2023年11月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡	千葉 聡		千葉 聡
食道・胃腸外科	鍋谷 圭宏 (第2・第4) 外岡 亨 水藤 広	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	早田 浩明 桑山 直樹	鍋谷 圭宏 成島 一夫 加野 将之 桑山 直樹	加野 将之 水藤 広
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 喜多絵美里	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 杉田 統	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 今関 洋 石垣 飛鳥	傳田 忠道 三梨 桂子 三浦 義史 古賀 邦林 徳長 鎮 箕輪真寿美	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 北川 善康 今関 洋
呼吸器外科	岩田 剛和		岩田 剛和		岩田 剛和
呼吸器内科	水野 里子 芦沼 宏典	新行内雅斗 芦沼 宏典		新行内雅斗 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	中村 力也 年光 亜水	中村 力也 羽山 晶子	中村 力也 羽山 晶子 年光 亜水	羽山 晶子	年光 亜水 吉村 悟志
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 海老沢桂子	鈴鹿 清美 井尻 美輪 (第2・第4) 草西多香子 村岡 純輔	田中 尚武	鈴鹿 清美 井尻 美輪 草西多香子 (第2・第3・第4・第5) 村岡 純輔	海老沢桂子 井尻 美輪
泌尿器科	小丸 淳 萩原 和久 新井裕太郎	米田 慧 門野 洋大 飯田 優輝 (第2・第4)	萩原 和久 米田 慧 新井裕太郎	佐藤 陽介 門野 洋大	小林 将行 米田 慧 飯田 優輝
腫瘍血液内科	武内 正博 佐藤 昌靖 真子 千華	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹 佐藤 昌靖	熊谷 匡也 三科 達三 真子 千華	武内 正博 熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦 長谷川祐三	(担当医)	堺田 司 長谷川祐三
頭頸科	(担当医)	木下 崇 森本 侑樹 浅井 俊一		木下 崇 森本 侑樹 浅井 俊一	
整形外科	米本 司 鴨田 博人	鴨田 博人 萩原 洋子		石井 猛 (第2・第4)	米本 司 萩原 洋子
緩和医療科	坂下 美彦		坂下 美彦		
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

電話 予約	●初診・再診予約(患者予約) 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 043-263-4071	●予約変更(患者予約) 月曜日～金曜日 午後1時～午後4時 043-263-4071	●医療機関からの直接予約 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 043-264-5633
------------------	---	--	---

ご案内の交通

JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車
小湊バス: 千葉県がんセンター行乗車・終点千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側

千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>